

放射線治療科がおすすめする初期臨床研修プラン

放射線治療科を志望する研修医には、1年目はがん診療に関わる分野を全般にまなく学び、「放射線治療」に限らずがん診療の3本柱である「外科治療」、「化学療法」などについても触れ、系統的な「臨床腫瘍学」を勉強していただきたいです。

2年目はより高度な放射線治療、IVR治療の研修が可能となる大学病院での研修をお勧めします。

放射線治療科は、大学病院においても教育関連施設においても、後期研修医と同じ行動をとれるように指導いたします。

大学病院では病棟業務を中心に放射線治療、IVR治療の患者さんを受け持ち、接し方を学び、放射線治療計画やIVR手技にも加わっていただき、放射線治療医、IVR治療医としてのトレーニングを行います。

1. 研修病院の選択

A・Bコース

協力型研修病院のうち下記の教育関連施設を選択していただくと、大学の放射線医学講座とつながりを持ちやすいです。

いずれも大学より放射線治療医を派遣しており、市中病院での放射線治療・IVR治療・放射線診断などに触れる事が可能です。2年目に大学病院で研修できるBコースをお勧めします。

Cコース

下記の協力型研修病院を選択して頂けると放射線治療、IVR治療に関わる短期研修が可能です。

放射線治療科の教育関連施設（2020年4月現在）			
協力型研修病院	KKR 札幌医療センター	函館五稜郭病院	市立札幌病院
（たすきがけ病院）	札幌禎心会病院	市立室蘭総合病院	
研修協力施設	なし		

2. 放射線治療科医になるために研修が望ましい診療科

放射線治療医は、がん診療において様々な腫瘍の診療に携わるため、耳鼻科、婦人科、泌尿器科、脳神経外科、乳腺・消化器外科、呼吸器外科、消化器内科、呼吸器内科、腫瘍血液内科などを意識して選択すると良いと思います。

3. コース選択

Aコース：大学病院でまず研修を開始するコース

1年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 救急 (麻酔)	必修 地域医療	選択 耳鼻科	選択 乳腺外科	選択 泌尿器科	選択 脳神経 外科	選択 呼吸器 外科	選択 放射線治療科					
2年次 協力型研修病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (消化器)		必修 内科 (呼吸器)		必修 内科 (腫瘍)		必修・選択 救急		必修 精神科	必修 小児科	必修 産婦人科	必修 外科	

Bコース：市中病院から研修を開始するコース

1年次 協力型研修病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (消化器)		必修 内科 (呼吸器)		必修 内科 (腫瘍)		必修 救急		必修 精神科	必修 小児科	必修 産婦人科	必修 外科	
2年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 救急 (麻酔)	必修 地域医療	選択 耳鼻科	選択 乳腺外科	選択 泌尿器科	選択 脳神経 外科	選択 呼吸器 外科	選択 放射線治療科					

Cコース：大学病院中心に研修するコース

1年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
必修 内科 (消化器)		必修 内科 (呼吸器)		必修 内科 (腫瘍)		必修 救急		必修 救急 (ICU)	必修 精神科	必修 小児科	必修 産婦人科	必修 乳腺外科
2年次 大学病院												
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
選択 麻酔科	必修 地域医療	選択 耳鼻科		選択 泌尿器科	選択 脳神経 外科	選択 呼吸器 外科	選択 放射線治療科					